



2020年12月15日
イオン琉球株式会社
公益財団法人イオン環境財団

首里城の復元に必要となる“イヌマキの木”を育成 イオン 首里城復興支援 イヌマキの苗木里親プロジェクト始動

イオン琉球(株) (本社：南風原町、代表取締役社長：佐方圭二) と公益財団法人イオン環境財団 (理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役 以下当財団) は、首里城復興支援の一環として、将来首里城復元の建築資材となるイヌマキの苗木を育成する「苗木の里親プロジェクト」を始動します。

イオンは、次代を継承する文化的資産の復元を継続的に支援したいとの思いから、イオン 首里城復興支援プロジェクト」を発足し“御万人ぬくる首里城”という新たなスローガンを掲げ、地域の皆さまとともに首里城の復興を継続的に支援しております。

この度の苗木の里親プロジェクトは、ボランティアとなる里親に自宅等でイヌマキの苗木を約一年間大事に育ててもらい、その苗木を沖縄県内国頭辺野喜ダム周辺で植樹するものです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実地での植樹活動が困難な中、森づくりに参画できる新たな活動として実施します。



苗木の里親デジタル認定書



12月14日、苗木の里親認定を受けたイオン南風原店従業員たち

今回、ボランティアとなる里親には、苗木の里親としてデジタル認定書を交付するとともに、ボランティア専用「苗木の里親LINEアカウント」を設け苗木の状態を確認しつつ、その成長を皆で共有しながら大事に育ててまいります。

両者は、いのちあふれる豊かな緑を育てながら“首里城”という貴重な文化材を次代に引き継いでいくため、地域の皆さまとともに今できることから始めてまいります。

【苗木の里親プロジェクト 概要】

- 配布日程： 2020年12月14日（月）～15日（火）
- 里親対象 イオン琉球従業員、イオンタウン南城大里従業員 計100名
- 樹種： イヌマキ（チャージ）苗木100本
- 植樹日程： 2021年度 12月以降を予定
- 植樹場所 沖縄県国頭村 辺野喜ダム周辺予定

【苗木の里親プロジェクトの流れ】



苗木の里親ボランティア専用
「苗木の里親LINEアカウント」を設け、
“苗木の育て方のポイント”や“成長の様子を共有したい”などそれぞれの苗木の状態を確認しつつ、成長の過程を皆で共有しながら大事に育ててまいります。



■公益財団法人イオン環境財団について

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立され、本年で30年を迎えました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており、現在は「イオンの森づくり」・「助成」・「環境教育」・「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動を進めています。＜公益財団法人イオン環境財団ホームページ： <http://www.aeon.info/ef/> ＞

■イオン琉球の植樹活動について

イオン琉球では、地域の皆さまとともに取り組む環境・社会貢献活動として店舗敷地内や公共の場所にその地域に自生する苗木を植え、大切に育てていく「イオンふるさとの森づくり」を行っており、これまでに累計14万8千本余りを植樹しております。